

- 1 会議の名称 平成24年度岐阜県立瑞浪高等学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|---------|---------------|
| 委 員 | 大久保 義弘 | 土岐地区栄町区長 [欠席] |
| | 各 務 和 子 | みどり保育園園長 |
| | 平松 喜代江 | 中京短期大学部 特任教授 |
| | 本 荘 敏 子 | 主 婦 |
| | 若 林 宏 樹 | J R瑞浪駅 駅長 |
| 学校側 | 杉 山 英 一 | 校 長 |
| | 藤 沢 文 雄 | 教 頭 |
| | 藤 木 将 | 事務長 |
| | 伊 藤 芳 博 | 教 諭 (教務部長) |
| | 加 藤 元 規 | 教 諭 (生徒指導部長) |
| | 谷 口 朋 子 | 教 諭 (進路指導部長) |
| | 田 内 香 織 | 教 諭 (生活産業部長) |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や保護者等から幅広く意見を聞き、地域住民からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成25年1月17日(木) 14時00分～16時30分
瑞浪総合文化センター
評議員4名と学校側7名が出席
- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
 - (2) 発表会講評
 - (3) 今年度の生徒進路状況(進路指導部長)
 - (4) 1年間の評議員をとおしての感想
 - (5) 本校に望まれること
 - (6) その他

ア 校長挨拶

- ・1年間学校評議員として、ご意見をいただいたことへのお礼。
- ・福祉科の卒業制作発表や今週末のセンター試験など、学校も最後のまとめの時期に入ってきている。今日の卒業制作発表は、3年生の充実感あふれる発表だった。この発表のように、他の行事にも、しっかりと取り組ませていきたい。
- ・本年11月30日に創立90周年記念式典が行われる。25年度は、生徒数の減少に伴い、普通科で1クラス減が決まっている。学校の活気の減退が懸念されるが、一人一人が楽しく、元気に学校生活を送ることが大切であると生徒に伝えていき、創立90周年を盛り上げていきたい。
- ・本日の生活福祉科の卒業制作発表の感想も含めて、この1年間に気がつかれたことや、ご意見をお願いしたい。

イ 発表会講評

- 意見 1
- ・調理コースの掲示がすっきりしていて分かりやすかった。コメントや写真の大きさが見やすく、改善点等も一目で分かるようになっていた。また、「おもてなしの心」というテーマの下で、様々な点を工夫していた。よく学ばれていると感じた。
 - ・福祉コースの劇は、身近な問題を取り扱っていた。上手に演じていた。
 - ・ライフインテリアコースは、生活に密着した内容で、参考になった。
 - ・ファッションコースのファッションショーでは、よくあれだけの衣装が作れるものだと思う。生徒の表情も良く、自信をもって発表していた。
- 意見 2
- ・掲示を見ていたら、生徒たちが気さくに声をかけてくれ、説明をしてくれた。
 - ・調べ学習は、内容を理解していないと「調べる」ことが難しいが、掲示を見ると、生徒たちがしっかりと理解し、自分たちの足で実際にその場に行って調べているのがよく分かる。先生方のご指導のたまものだと思う。
 - ・調理コースはテーブルコーディネートを実演するというのが良かった。
 - ・ファッションコースのファッションショーでは、会場全体で盛り上げる雰囲気があり、それが相乗効果をもたらし、楽しい発表になっていたと思う。
 - ・客席が満席であり、また、会場全体で盛り上げるという雰囲気が素晴らしかった。
- 意見 3
- ・卒業生が来ており、先生と話をしているところを見かけた。先生と生徒の間で良い関係が築けていると感じた。
 - ・展示は、私たちが参考になるものばかりであった。「もてなす心」が大切だと改めて感じた。
 - ・3年間、積み重ねてきたものの発表であった。子どもたちにとって、将来的にも、良い経験であった。
- 意見 4
- ・「つけやきば」ではない発表であった。しっかりと準備、練習してきたことが感じられた。感銘を受けた。
 - ・実演を交えながら、というのは分かりやすい。何を勉強してきたのかということが伝わってくる。
 - ・ファッションショーは華やかだった。

ウ 今年度の生徒進路状況（進路指導部長）

（就職状況一覧、入試結果を配付・参照）

- ・今週末にセンター試験がある。センター推薦や一般試験を考えている生徒もいる。なんとか頑張らせたい。
- ・進学希望者、就職希望者ともに、希望が実現できるよう援助していきたい。

エ 1年間の評議員をとおしての感想、本校に望まれること

- 意見 5
- ・ 3年間、楽しく（評議員を）やらせていただいた。行事などの案内が来ても、仕事との都合で行けないことがあり、申し訳なかった。
 - ・ 生徒が良い表情で授業を受けている。今日の発表も生徒が良い表情をしていた。先生方が一生懸命指導しているのが伝わる。
 - ・ 私は、瑞浪高校の卒業生だが、自分たちの時とはずいぶん違う。昔はもっとのんびりしていた。その後、学校があれていた時期があり、5年前くらいから落ち着いてきた。おだやかになってきたイメージがある。
 - ・ 瑞浪中学校区で行われている「朝の挨拶運動」に参加していただきありがたく思っている。
- 意見 6
- ・ 通学の際の指導を継続的にお願いしたい。駅のホームで、線の内側に並ぶことができなかつたり、電車の中での座り込み、大声でのおしゃべり等、乗車マナーが悪い生徒もいる。
 - ・ 良いことと、悪いことが分かっていない生徒がいる。厳しく言わないと分からない生徒もいる。
- 意見 7
- ・ 生徒は素直な感じを受ける。一人一人は素直。
 - ・ 一人では素直だが、高校生の時期は、何人かでまとまると、やってはいけないことをしてしまったりするのかもしれない。大人として、良いこと、悪いことをしっかりと教えていく必要がある。
- 教 頭
- ・ 高校生だから知っているだろうということが通用しない生徒もいる。良いこと、悪いことの判断がつくよう、しっかりと指導していきたい。